

洪水対応演習の実施について

本年も梅雨、台風等による出水期が近づいていますが、出水時等の水防警報、ダム放流情報等、防災情報の迅速及び的確な伝達、連絡を行い、適切な防災体制の万全を期することが極めて重要であります。

このため、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所では来たる出水期に備え、関係機関と協力して、総合的な洪水対応演習（情報伝達演習）を実施します。（資料1）

なお、演習中において石手川ダムによる警報所の試運転も実施します。（資料2）

実施日時 平成24年5月15日（火）9:00～17:00

平成24年5月10日
国土交通省 松山河川国道事務所

（問い合わせ先）

松山河川国道事務所	TEL (089) 972-0034	
副所長（河川）	<small>せきや こうじ</small> 関谷 浩二	（内線204）
事業対策官	<small>かわだ あきひこ</small> 川田 昭彦	（内線208）
○調査第一課長	<small>いわもと やすひろ</small> 岩本 康宏	（内線351） <河川>
石手川ダム管理支所	TEL (089) 977-0021	
支所長	<small>はらだ たかし</small> 原田 隆史	（内線21） <ダム>

○：主な問い合わせ先

洪水対応演習の実施について

本年も梅雨、台風等による出水期が近づいていますが、出水時等の水防警報、ダム放流情報等、防災情報の迅速及び的確な伝達、連絡を行い、適切な防災体制の万全を期することが極めて重要であります。

このため、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所では関係機関と協力して、下記により総合的な洪水対応演習を実施することとしています。

1. 実施日時

平成24年5月15日（火）9:00～17:00

※大雨などの場合は演習を中止します。

2. 実施場所

松山河川国道事務所4F 災害対策室、石手川ダム管理支所操作室など

3. 参加機関

国（四国地方整備局、松山河川国道事務所）、愛媛県、松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町、松山市消防局、警察機関 など

4. 演習概要

	洪水対応演習（河川）	ダム管理演習
演習の目的	洪水時における水防関係機関等への情報伝達演習及び洪水予測演習、水防警報等の文書の作成演習などを行い、洪水時の緊急かつ適切な対応に資することを目的としています。	洪水時における関係機関への情報伝達、下流住民への周知、ダム操作等を的確に行うための演習を行い、洪水時のダム管理に万全を期することを目的としています。 なお、これは演習です。実際のゲート操作は行いません。
対象河川 対象ダム	重信川・石手川	石手川ダム



昨年度の演習状況

警報所の試験運転について

石手川ダムからのお知らせ

今年も梅雨・台風等による水害の多い時期を迎えようとしています。
そこで、より確実なダム管理を実施するために、サイレン・スピーカーの試験運転を実施します。

試験運転によるサイレン・スピーカー音にて大変ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

①日時：平成 24 年 5 月 15 日(火)9:00～12:30

※注1：上流から下流へ順番に警報音を確認します。ひとつの警報所から上記時間中に絶えず警報音が流れるわけではありません。

※注2：大雨などでダムからの放流が予想される場合は試験を中止します。

②実施内容：サイレン・スピーカーの音響確認を行うものです

○各サイレンについて、30～50秒程度数回警報音を鳴らします。

○スピーカーについては、「訓練中ですのでダムから水は流しません」という旨の放送を流します。

③実施場所：石手川および重信川沿いの警報所

○警報所の位置につきましては別紙をご参照ください。

④その他：消防等のサイレンと間違わないようにお願いします

○試験運転中は放流情報表示装置に「洪水対応演習中！」と表示します。

大切なポイント

- ・警報所の試験運転により、実際にサイレンが鳴ります。
- ・放流情報表示装置に「洪水対応演習中！」と表示します。
- ・訓練中ですのでダムから水が流れるわけではありません。

別紙（警報所位置図）

大雨により川の水位が上昇する際には、下図の警報所からサイレンや赤色回転灯などで、皆様に川の水が増えることをお知らせします。



* サイレンは非常に大きな音がなります。石手川の近くに住んでいる方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力よろしくお願ひします。

○上記についての問い合わせ先

国土交通省 松山河川国道事務所 石手川ダム管理支所
担当：原田・橋田 TEL (089) 977-0021